

## 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

計画主体名	計画期間
・ <small>しがけん</small> 滋賀県(代表) ・ <small>まいぼらし</small> 米原市	平成21年度～平成22年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
滋賀県農政水産部農村振興課	077-528-3964	077-528-4888	<a href="mailto:gh01@pref.shiga.lg.jp">gh01@pref.shiga.lg.jp</a>
米原市農林振興課	0749-58-2228	0749-58-1719	<a href="mailto:nourin@city.maibara.shiga.jp">nourin@city.maibara.shiga.jp</a>

【記入要領】

計画主体名

- ・市町村名にはふりがなをふること
- ・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載する。

計画期間

- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

連絡先

- ・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。

メールアドレス

- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

## I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
	定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	
計画区域における農業用排水施設等の機能の確保(ha)＝計画期間内に農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の面積(ha)＝30.4ha		
<b>事業活用活性化計画目標の設定根拠</b> 農業用水の安定供給が困難となっている農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の面積とする。 山室地区 30.4ha		
事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
<b>事業活用活性化計画目標の設定根拠</b>		

**【記入要領】**

事業活用活性化計画目標

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・事業活用活性化計画目標の項目は農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要領の別紙に掲げる項目から選択するものとする。
- ・事業活用活性化計画目標の記載にあたっては「事業活用活性化計画目標の設定について」により記入すること。

## Ⅱ 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望 額 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
基盤整備(農業用排水施設)	山室地区	揚水機を新設し用水の安定供給を図る。	揚水機 1.0基	H21	米原市	17,200	8,600	50%	8,600	農業用排水施設(揚水機)の整備を行い、優良農地を確保することで農業経営の安定化を目指し、加速が懸念される地区人口の減少率を維持し定住を促進する。
合計						17,200	8,600		8,600	

## 【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容の欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性について併せて記載すること。
- ・事業メニューには、実施要領の別表の事業メニュー名を記入すること。
- ・地区名には、事業の実施地区名を記入すること。
- ・事業内容は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
- ・事業規模は、施設毎の棟数と床面積、農道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
- ・実施期間は、原則として3年以内とすること。
- ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。

### Ⅲ 優先枠を活用する事業に関する事項

(交付対象事業別概要)

#### 1 輸出促進緊急条件整備事業優先枠及び農林漁業再チャレンジ支援対策優先枠

優先枠の種類	優先枠指標	増加率等	増加率等の算出
1 輸出促進緊急条件整備事業優先枠			
2 農林漁業再チャレンジ支援対策優先枠			
優先枠指標の設定根拠			
事業メニュー名	地区名	事業内容と優先枠指標との関連性	
優先枠の種類	優先枠指標	増加率等	増加率等の算出
1 輸出促進緊急条件整備事業優先枠			
2 農林漁業再チャレンジ支援対策優先枠			
優先枠成果指標の設定根拠			
事業メニュー名	地区名	事業内容と優先枠指標との関連性	

#### 2 農山漁村地域再生対策(農山漁村プロジェクト交付金特別枠)

優先枠	交付対象事業と併せて実施される関連事業		関連施策と交付対象事業との関連性及び併せ行うことにより期待される効果
	施策の名称	所管省庁	
農山漁村地域再生対策(農山漁村プロジェクト交付金特別枠)			

- 【記入要領】
- 必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
  - 優先枠を活用する事業とは、予算の優先枠(輸出促進緊急条件整備事業優先枠、農林漁業再チャレンジ支援対策優先枠及び農山漁村地域再生対策(農山漁村プロジェクト交付金特別枠))の対象となる事業であり、具体的には、輸出の促進に関連する事業、実施要領の別表1の事業メニュー番号10、33、34、37、38、38の2、43、45、又は45の2であって要件類別番号5、21、23又は25を満たすもの又は交付対象事業のうち、関連施策との連携、協力により、効果の高い地域活性化の取組を行うものがその対象となる。
  - 輸出促進緊急条件整備事業優先枠及び農林漁業再チャレンジ支援対策優先枠に係る優先枠事業を実施しようとする場合には、以下のいずれかの優先枠指標を記入すること。
    - (輸出促進緊急条件整備事業優先枠)
 
$$\text{輸出量の増加率(\%)} = \frac{\text{優先枠事業の実施によって見込まれる年間の輸出量}(t) - \text{現在の年間輸出量}(t)}{\text{現在の年間輸出量}(t)} \times 100$$
    - (農林漁業再チャレンジ支援対策優先枠)
 
$$\text{交流人口の増加数} = \text{優先枠事業の実施によって見込まれる地域外からの年間入込客の増加人数}$$

$$\text{定住人口の増加数} = \text{優先枠事業の実施によって見込まれる地区人口の増加人数}$$
  - 優先枠の種類は、いずれか該当する方を丸囲みすること。  
なお一つの事業について複数の優先枠指標を設定する場合は優先枠指標ごとに当該様式を作成する。
  - 事業メニューには、実施要領の別表1の事業メニュー名を記載すること。
  - 地区名には、事業の実施地区名を記入すること。
  - 事業内容と優先枠指標の関連性は優先枠指標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。
  - 関連施策と交付対象事業との関連性及び併せ行うことにより期待される効果は交付対象事業と関連事業を併せ行うことにより、目標を達成する上で期待される効果について具体的に記載すること。

